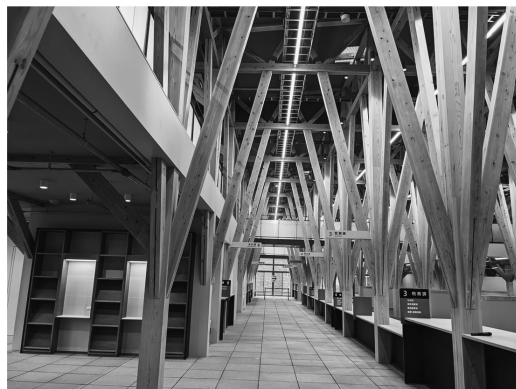




大子町新庁舎内覧会（8/8）▶

3年前の台風19号にともなう水害により、新しく建て替えとなった大子町役場の新庁舎の内覧会に出席しました。

延べ5,000m²の純木造建築は大変稀であり、地元大子産スギなど木をふんだんに使った建物は、とても温かみがありました。また、「木造には良し悪しがある。良いところは活かし、悪いところは改善しながら、町民と一緒に使っていく」という大子町長のコメントが印象的でした。



川和 将人さん
（須和間在住）

4年前、夫婦で生活の拠点をどこにするかについて話し合い、お互いの勤務先への通勤距離、交通の利便性、近隣に便利な商業施設があること等の条件から、東海村に拠点を置くことを決めました。

子どもが産まれてからは、村内に保育園や小学校の数が多いことや子どもの医療費が無料なこと、遊具が充実した公園が多く休日の遊び場に困らないことも、子育て世代には嬉しいポイントだと感じています。最近、「街の住みこちランキング」で東海村が常に上位となっており、私たち夫婦の選択は間違っていなかったと改めて実感しています。

おち議員には、5年後・10年後を見据えて、次の世代が「この場所で」子育てをしていきたいと思える取組みをお願いしたいと思います。

編集後記

3年ぶりとなる「行動制限の無い夏」が終わった。新型コロナウイルスの第7波が猛威を振るったが、それでも全国各地で3年ぶりの開催となる様々なイベントが行われ、感染症対策と地域経済の活性化との両立を模索した夏であった。加えて、こんなにもクーラーを使用したことは記憶に無い。気温が35℃を超える猛暑日は歴代最多となり、史上最も暑い夏でもあった。

燃料費の高騰により電気代が値上がりする状況が続くなか、電力供給のひっ迫も指摘されるようになった。エネルギーの安定供給について、冷静かつ真摯に議論する必要がある。（す）

わかば通信

おち辰哉

東海村議会議員

第59号

令和4年10月発行

発行人：おち辰哉後援会

日立市多賀町4-1-19
（日立製作所労働組合 日立国分支部内）
TEL 0294(33)0615
FAX 0294(38)5522



日頃のご支援に感謝申し上げます。

日を追うごとに秋めいた季節となりましたが、今年の夏は例年以上に暑い夏でした。

そんな猛暑のなか、本村の中学生たちが弓道の全国大会において、とても素晴らしい成績を収めました。子どもたちの活躍を多くの方に知って頂くべく、村内各所に横断幕や懸垂幕が設置されていますので、ご覧ください。

越智辰哉



3年ぶりに花火大会を開催

8月11日、阿漕ヶ浦公園において3年ぶりとなる東海まつり「花火大会」が開催され、大盛況となりました。

昨年までは、新型コロナウイルスの影響により会場を分散し、かつ短時間での打上げ花火が行われました。しかし今年度は、感染症対策と地域経済の活性化との両立を図ろうと、従来どおりの集合形式での開催を模索し、何とか実施まで漕ぎつけました。

実に3年ぶりの開催であり、不安と期待が交錯するなかでの花火大会でしたが、たくさんの来場者が会場を訪れ、真夏の夜空に美しく輝く花火を見上げることができました。

一方で、県内外から想定以上の来場者が殺到し、周辺道路の混雑や路上駐車など近隣住民の方々に多大なご迷惑をお掛けするなど、今後の課題も顕在化したようです。

村内では、秋以降も様々なイベントが予定されており、少しずつ日常の姿を取り戻しつつありますが、引き続き感染症への対策を心掛けましょう。





公共施設の電気料不足への 対応など補正予算を可決

令和4年9月定例会を9月1日から27日まで
の会期で開きました。
今議会では、公共施設への電気料金不足
に対応するための補正予算など24件の議案
が提案されましたが、慎重審議の結果、す
べて原案のとおり可決しました。



電気料金の予算が大幅に不足、なぜ？

村では、役場の庁舎や学校などの公共施設の電気料金を抑えるために、昨年10月から福岡市にある電力小売事業者と契約を結んでいました。

しかし、エネルギー価格の高騰等によりこの事業者が本年3月に破産手続きに入ったため、契約先を別の電力会社に変更したことから、基本料金が増加。加えて、燃料費の高騰にともなう電気料金の値上がりにより、これら公共施設の今年度分の電気料金の予算額が大幅に不足する見込みであることが判明し、不足分の1.38億円が補正予算として計上されました。

上記のような状況から、今回の増額補正はやむを得ないものではありますが、今後の契約においては、コスト面だけでなく、リスク管理の視点も重要であると考えます。

単位：万円			
No.	施設名	支出見込	不足額
1	役場庁舎	3,210	124
2	コミセン（6館）	1,310	390
3	総合福祉センター絆	4,480	1,600
4	村松宿こども園	570	290
5	産業・情報プラザ	1,340	670
6	小学校（6校）	5,910	2,650
7	中学校（2校）	2,400	1,250
8	東海文化センター	1,080	460
9	歴史と未来の交流館	2,340	880
10	図書館	1,540	630
	⋮	⋮	⋮
	合計30施設	3.52億円	1.38億円



コミセンのホールに空調設備を設置

村内に6つあるコミュニティセンターのうち、石神、村松、白方、真崎の4館の多目的ホールには、空調設備が未設置となっています。

ここ数年は、異常気象ともいえる厳しい暑さが続いていることから、村担当課では来年6月までに空調設備を設置する方針が示されました。

今回設置する空調設備は、一般的なエアコンのような冷温風による「対流式」ではなく、輻射熱を利用して建物自体の温度を調整する「輻射式」を採用。保守メンテナンスを含めた全体的な運用コストを抑えるよう導入を進めていくとのこと。



【一般質問】 気になる話題

一般質問における議員と村執行部とのやり取りにおいて、特筆すべき話題について取り上げます。

【新政とうかい・河野健一議員】

避難所の面積変更の影響は？

➡ 避難計画を一から作り直す状況ではない。

Q. 10月18日に実施予定の守谷市との広域避難訓練はどのような内容か。

A. 過去の訓練でも実施してきた自家用車・福祉車両等による一般住民や在宅の避難行動要支援者の「避難活動訓練」などに加え、一部の訓練を対象に事前のシナリオに基づく行動ではなく、職員行動マニュアルに基づき自らが行動を検討・実施する「一部ブラインド型訓練」を予定している。

また、感染症対策を講じたうえでの避難や避難所における児童の保護者への引き渡しも実施したいと考えており、訓練を通して広域避難計画の確認・検証を行い、その精度を高めていきたい。

Q. 避難所における一人当たりの面積が変更となれば、今後の計画策定において、どのような作業が必要となるのか。

また、たとえ面積が変更になったとしても、本村の避難計画を一から作り直す必要はない、と認識しているが、執行部はどう考えるか。

A. 現在、茨城県において、広域避難時の避難所における一人当たりの面積を見直す動きがあるが、見直された際には避難所の割り振りの変更などの作業も必要になると考えている。

一方で、東海村広域避難計画（案）に定めている事項や“基本的な考え方”については、変更する必要がないと考えており、面積変更によって取手市、守谷市、つくばみらい市の3市が本村の避難先から除外されることはないとも考えているため、避難計画を一から作り直す状況とはならないと考えている。



福島原子力発電所の事故から11年が経過しましたが、本村の広域避難計画は未策定のまま。避難計画の策定作業が後戻りすることなく、次の段階へ進むことに期待します。

茨城県議会 議員選挙

期日前投票所を増設します



現在、各種選挙における期日前投票は、村役場1か所のみとなっていますが、期日前投票の利用者増による混雑の緩和および有権者の利便性向上のために、村役場以外の場所へ期日前投票所を設置すべき、という提案を行っていました。

そこで、12月2日告示、11日投開票の日程で施行される茨城県議会議員選挙において、試験的に期日前投票所を設置することとなりました。

【開設場所】 アイヴィル1階正面ロビー
（東海村産業・情報プラザ）
【開設日時】 12/9（金）および12/10（土）のみ
午前9時から午後8時まで